



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月4日

上場会社名 久光製薬株式会社

上場取引所 東 名 福

コード番号 4530 URL <http://www.hisamitsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中富 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長

(氏名) 高尾 信一郎

TEL 03-5293-1714

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日

平成22年11月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	71,079	9.7	15,768	1.1	17,876	11.2	12,002	25.4
22年2月期第2四半期	64,801	—	15,592	—	16,077	—	9,569	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	138.48	—
22年2月期第2四半期	109.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	197,124	137,698	69.4	1,577.63
22年2月期	193,551	130,976	67.2	1,500.92

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 136,734百万円 22年2月期 130,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	34.00	—	34.00	68.00
23年2月期	—	35.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	10.9	27,500	△3.8	32,500	4.1	20,200	9.6	233.06

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期2Q 95,164,895株 22年2月期 95,164,895株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 8,493,948株 22年2月期 8,493,446株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期2Q 86,671,128株 22年2月期2Q 87,672,309株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	4
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※決算説明会において使用した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<売上高>

当第2四半期までの売上高は710億7千9百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

医療用医薬品事業については、主力製品のケトプロフェン含有経皮吸収パッチ剤「モーラステープL®40mg」(前年同四半期比13.6%増)が好調に推移しました。6月には、協和発酵キリン㈱と共同で経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス®テープ」の販売を開始しました。また昨年買収したノーベンファーマシューティカルズ社(以下、ノーベン社)の売上高43億9千4百万円も増収に寄与しました。

一般用医薬品事業については、国内市場においては、依然としてOTC市場の低迷と厳しい販売競争が続いており、新商品として「Hisamitsu®アイスタオル」、「ココサロ®」、「エアー®サロンパス®ジェットα」を発売しましたが、主力商品が前年同四半期を下回る結果となっています。

このような結果、「医薬品及び関連製品事業」の売上高は前年同期比8.6%の増収となりました。

<利益>

当第2四半期までの営業利益は157億6千8百万円(前年同期比1.1%増)で増益となりました。

なお、当第2四半期までの研究開発費は、58億5千1百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

当第2四半期までの経常利益は178億7千6百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

当第2四半期までの四半期利益は120億2百万円(前年同期比25.4%増)となりました。その主な要因は特別利益として、販売権許諾料30億円を計上したことなどによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債、純資産の状況>

当第2四半期末の総資産は前連結会計年度末と比較して35億7千3百万円増加し、1,971億2千4百万円となりました。これは現金及び預金(27億8千1百万円増)などによるものです。

当第2四半期末の負債合計は前連結会計年度末と比較して31億4千8百万円減少し、594億2千5百万円となりました。これは短期借入金(41億3千万円減)や未払法人税等(33億4千3百万円増)、長期借入金(26億円減)などによるものです。

当第2四半期末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して67億2千2百万円増加し、1,376億9千8百万円となりました。これは、利益剰余金(90億5千3百万円増)などによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間の営業活動から得た資金は203億8千4百万円となり、前年同四半期に比べて120億4千9百万円増加しました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」、「利息及び配当金の受取額」、「法人税等の支払額」などによるものです。

投資活動に使用した資金は46億2千5百万円となり、前年同四半期に比べて247億6千万円減少しました。これは主に、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」などによるものです。

財務活動に使用した資金は98億6百万円となり、前年同四半期に比べて189億6千8百万円増加しました。これは主に、「短期借入金の返済による支出」、「長期借入れによる収入」、「自己株式の取得による支出」などによるものです。

上記の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首に比べて56億3千6百万円増加し、318億6千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(平成22年4月8日)の予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められない場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

③税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,717	26,935
受取手形及び売掛金	42,083	42,324
有価証券	2,870	—
商品及び製品	6,577	7,279
仕掛品	405	481
原材料及び貯蔵品	4,535	4,511
その他	6,869	4,835
貸倒引当金	△277	△267
流動資産合計	92,781	86,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,475	20,082
その他（純額）	25,860	26,135
有形固定資産合計	45,336	46,218
無形固定資産		
のれん	7,198	7,902
その他	7,236	7,853
無形固定資産合計	14,434	15,756
投資その他の資産		
投資有価証券	30,877	31,979
その他	13,826	13,636
貸倒引当金	△132	△140
投資その他の資産合計	44,571	45,475
固定資産合計	104,342	107,450
資産合計	197,124	193,551

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,343	14,669
短期借入金	6,354	10,484
未払法人税等	8,221	4,878
返品調整引当金	196	237
賞与引当金	1,357	1,381
その他	12,836	11,173
流動負債合計	42,310	42,825
固定負債		
長期借入金	5,541	8,142
退職給付引当金	4,822	4,716
役員退職慰労引当金	1,187	1,174
その他	5,563	5,715
固定負債合計	17,115	19,749
負債合計	59,425	62,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	8,396	8,396
利益剰余金	141,352	132,298
自己株式	△18,522	△18,521
株主資本合計	139,699	130,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,349	△780
土地再評価差額金	3,189	3,188
為替換算調整勘定	△4,804	△2,968
評価・換算差額等合計	△2,964	△560
少数株主持分	963	889
純資産合計	137,698	130,976
負債純資産合計	197,124	193,551

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	64,801	71,079
売上原価	20,759	24,412
売上総利益	44,042	46,666
販売費及び一般管理費	28,449	30,897
営業利益	15,592	15,768
営業外収益		
受取利息	70	28
受取配当金	156	198
受取ロイヤリティー	111	70
持分法による投資利益	—	1,846
その他	278	170
営業外収益合計	616	2,315
営業外費用		
支払利息	17	67
為替差損	76	91
売上債権売却損	15	11
その他	22	36
営業外費用合計	131	207
経常利益	16,077	17,876
特別利益		
国庫補助金	310	18
販売権許諾料	—	3,000
その他	24	28
特別利益合計	334	3,047
特別損失		
固定資産処分損	—	26
固定資産圧縮損	294	9
その他	64	—
特別損失合計	358	36
税金等調整前四半期純利益	16,052	20,887
法人税等	6,436	8,706
少数株主利益	46	178
四半期純利益	9,569	12,002

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	34,472	38,209
売上原価	10,955	12,972
売上総利益	23,517	25,237
販売費及び一般管理費	15,080	16,151
営業利益	8,437	9,086
営業外収益		
受取利息	36	17
受取配当金	130	176
受取ロイヤリティー	31	31
持分法による投資利益	—	1,177
その他	165	99
営業外収益合計	363	1,502
営業外費用		
支払利息	12	30
為替差損	83	119
売上債権売却損	8	6
その他	8	20
営業外費用合計	113	176
経常利益	8,688	10,412
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	△25
その他	0	5
特別利益合計	1	△19
特別損失		
有形固定資産処分損	11	5
特別損失合計	11	5
税金等調整前四半期純利益	8,677	10,387
法人税等	3,493	4,358
少数株主利益	11	111
四半期純利益	5,172	5,917

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,052	20,887
減価償却費	2,232	3,092
のれん償却額	1,051	406
退職給付引当金の増減額(△は減少)	90	106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	3
受取利息及び受取配当金	△226	△227
支払利息	17	67
持分法による投資損益(△は益)	△49	△1,846
売上債権の増減額(△は増加)	△423	131
たな卸資産の増減額(△は増加)	△651	653
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,361	△1,272
その他	819	1,046
小計	17,530	23,048
利息及び配当金の受取額	254	2,851
利息の支払額	△17	△66
法人税等の支払額	△9,433	△5,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,334	20,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,431	△3,637
有価証券の取得による支出	△3,002	—
有価証券の売却及び償還による収入	6,330	—
投資有価証券の取得による支出	△1,286	△1,153
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△31,146	—
その他	4,150	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,386	△4,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△10	△4,150
長期借入れによる収入	15,000	33
長期借入金の返済による支出	△80	△2,601
少数株主からの払込みによる収入	—	2
少数株主への配当金の支払額	△37	△103
自己株式の取得による支出	△2,903	△1
配当金の支払額	△2,792	△2,946
その他	△13	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,162	△9,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△314
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,804	5,636
現金及び現金同等物の期首残高	33,356	26,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,552	31,868

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質等の類似性を考慮し、「医薬品及び関連製品事業」、「有線テレビ放送事業」及びこれらに属さない「その他の事業」に分類しています。全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める「医薬品及び関連製品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質等の類似性を考慮し、「医薬品及び関連製品事業」、「有線テレビ放送事業」及びこれらに属さない「その他の事業」に分類しています。全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める「医薬品及び関連製品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める本国の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	64,067	5,072	1,939	71,079	—	71,079
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	642	58	94	795	(795)	—
計	64,709	5,131	2,034	71,874	(795)	71,079
営業利益又は営業損失(△)	17,600	△1,980	89	15,708	59	15,768

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) その他の地域……ブラジル、ベトナム、インドネシア等

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,073	3,062	8,136
II 連結売上高(百万円)	—	—	71,079
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.2	4.3	11.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) その他の地域……ブラジル、ベトナム、インドネシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。